

PCB処理完了に向けた見通し

項目	R2年度 までの処 理量	処理対象 数量	処理見込み					備考	
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		
1. 北九州事業所			計画的処理完了期限		事業終了準備期間				
安定器及び汚染物等	トン	7,781	2,794 ^{※1}	1,352				※1 今後の掘り起こし見込み量350トンを含む R3年度末残量1,442トン	
2. 大阪事業所			計画的処理完了期限		事業終了準備期間				
変圧器等	大型トランス	台	295	3	3			今後の掘り起こし見込み量を含まない	
	小型トランス	台	2,341	15	15				
	車載トランス	台	93	0 (完了)					
	車載トランス(豊田分) ★	台	30	0 (完了)					
コンデンサー類	コンデンサー	台	80,863	2,929	2,929				
	特殊コンデンサー(北海道分) ★	台	70	0 (完了)					
	特殊コンデンサー(豊田分) ★	台	123	0 (完了)					
	PPコンデンサー(豊田で処理) ☆	台	4,987	0 (完了)					
その他	PCB油	本	2,284	665	265			R3年度末残量 400本	
3. 豊田事業所				計画的処理完了期限		事業終了準備期間			
変圧器等		台	2,439	67 ^{※2}	67			今後の掘り起こし見込み量を含まない	
コンデンサー類		台	75,127	1,921 ^{※2}	1,879	42		※2 処理対象数量はR3.4~7の実績にR3.8以降の処理計画量を加えた値としている	
PCB油類		本	1,599	337 ^{※2}	337				
保管容器		箱	2,884	790 ^{※2}	242	548			
4. 東京事業所				計画的処理完了期限		事業終了準備期間			
変圧器等	超大型変圧器(20t超)	台	26	3	3	0		今後の掘り起こし見込み量を含まない	
	超大型変圧器(北海道分) ★	台	5	0 (完了)				事業終了準備期間内に新たに対象物が発見された場合には、その状況に応じて検討	
	大型変圧器(5t超20t以下)	台	295	8	8	0			
	中型変圧器(1t超5t以下)	台	921	19	19	0			
	小型変圧器	台	2,403	108	108	0			
	車載変圧器	台	10	0 (完了)					
	車載変圧器(豊田分) ★	台	30	0 (完了)					
コンデンサー類	超大型コンデンサー(200kg超)	台	445	47	45	2			
	大型コンデンサー(20kg超200kg以下)	台	59,622	5,684	4,655	1,029			
	小型コンデンサー(20kg以下)	台	8,514	1,013	983	30			
	超小型(3kg以上10kg未満)	台	6,723	1,319	1,315	4			
	極小型(3kg以下)	台	10	2	2				
	PCB油(リンを含まない)	トン	70	11	11				
	リン含有PCB油	トン	130	157	157				
	運転廃棄物	廃粉末活性炭(北九州、大阪分) ★	トン	150	80	40	40		
5. 北海道事業所				計画的処理完了期限		事業終了準備期間			
変圧器		台	3,961	113				※3 今後の掘り起こし見込み量1,063台を含む	
コンデンサー		台	63,104	6,205 ^{※3}					
				計画的処理完了期限		事業終了準備期間			
安定器及び汚染物等	(北海道事業エリア)	トン	3,665	939 ^{※4}				※4 今後の掘り起こし見込み量(北海道200トン、東京600トン)を含む	
	(東京事業エリア)	トン	3,329	3,790 ^{※4}					

(注)

○各事業所の計画は、事業部会、監視会議等で提示した長期的な処理の見通しを記載している。なお、北海道事業所の計画については、環境省の掘り起こし見込み量等も踏まえて現在整理中である。

○R2年度までの処理量については、試運転によるものを除いている。

○項目欄の★☆は相互処理を表している。☆:廃棄物が発生したエリア、★:処理を行った事業所

○表に記載しているもののほか、北九州エリアにおいて、約500台の大型コンデンサー等が存在している。